

(ビジネスインタビュー) 18×33行

## 東京との二本社制で営業基盤強化へ

㈱パイオニア・ソフト

森永洋昭 社長

ERP(企業の基幹系情報システム開発)を強みとする㈱パイオニア・ソフトは今年2月、東京事業所を東京本社に改め、福岡との二本社制とした。森永洋昭社長は「売り上げの9割は東京の顧客。東京本社は何年も前から構想していた。人材採用や営業基盤を強化する上で対外的な信用力向上を図りたい」と意気込む。

東京本社開設と同時に父・守房氏から社長職を引き継ぎ3代目となった森永社長は経営理念や企業ロゴの刷新など積極的に社内改革に取り組んでいる。6月には初の自社開発パッケージソフトとして保育園向けの「登降園管理システム」をリリース。「保育管理や保護者連絡などの機能を削った時間管理に特化したシンプルなシステムで、導入費用はパソコンも含め30万円程度。今後は登降園以外のシーンにも応用できれば」と展望する。

20年以上前から東京で案件を受注し福岡で開発を手掛けるニアショア開発の形態を採用する同社は、常に開発や改善

が必要とされる大企業向けエンハンスサービスに注力している。現在も社内に某大手金融機関の開発ラボを設け、3年間で20%のコスト削減に貢献してきた。ベトナムのハノイ開発センターでエンハンスができればさらなるコスト削減が可能だという。東京本社を開設したことで同サービスの提案に磨きをかけた森永社長は「創業40年以上にわたる豊富な経験も強みに今期売上高は前期比15%増の16億円を目指す」と力強く語った。

[福岡本社]福岡市南区清水4-22-16 PSビル  
[設立]1976年10月[資本金]6100万円  
(㈱SCSK 出資比率9%) [売上高]13億9100万円[事業内容]システム構築・コンサルティング[従業員]132人 [TEL]092-512-0005  
(もりなが・ひろあき)大野城市出身。1968年6月27日生まれ。49歳。九州大学経済学部卒。2017年2月に社長就任。趣味は食べ歩き